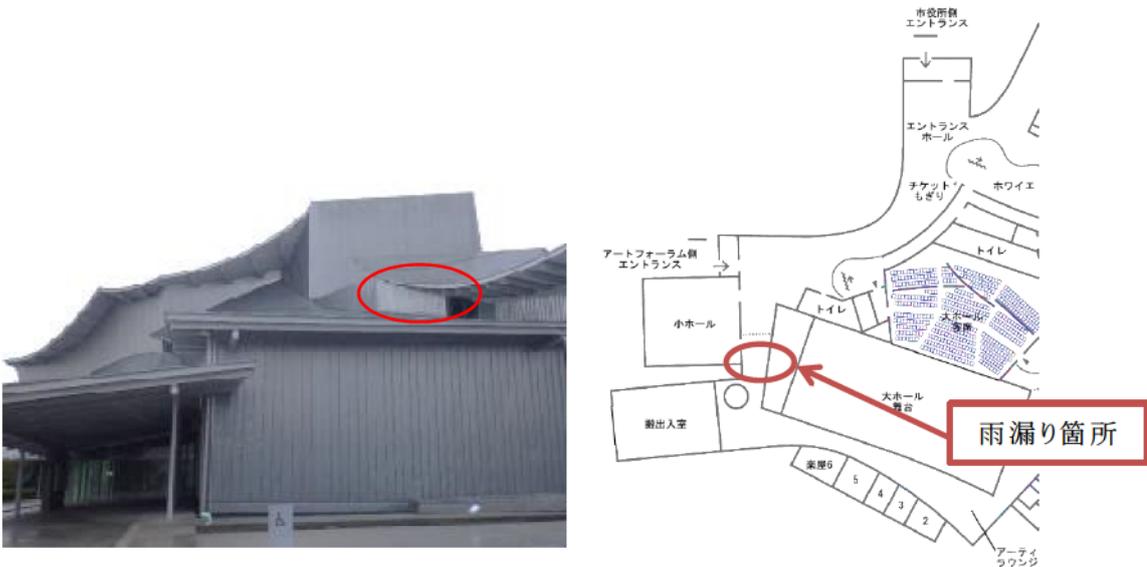


鶴岡市文化会館 漏水報告の概要について

鶴岡市 建設部建築課

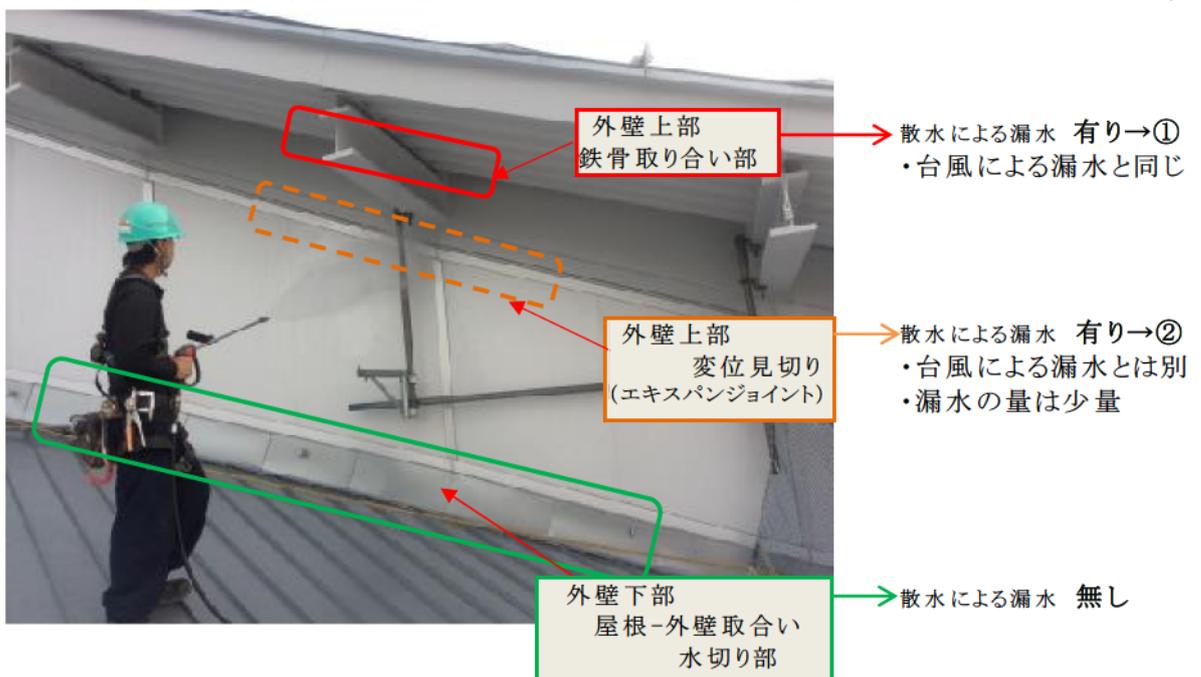
10月22日から23日までの台風21号の影響により、搬出入口と小ホールの中の廊下で、漏水事象が発生した件について、10月25～30日の調査結果に基づき、検討された原因及び対策案の提示がありましたのでご報告します。

(1) 調査場所



(2) 調査方法

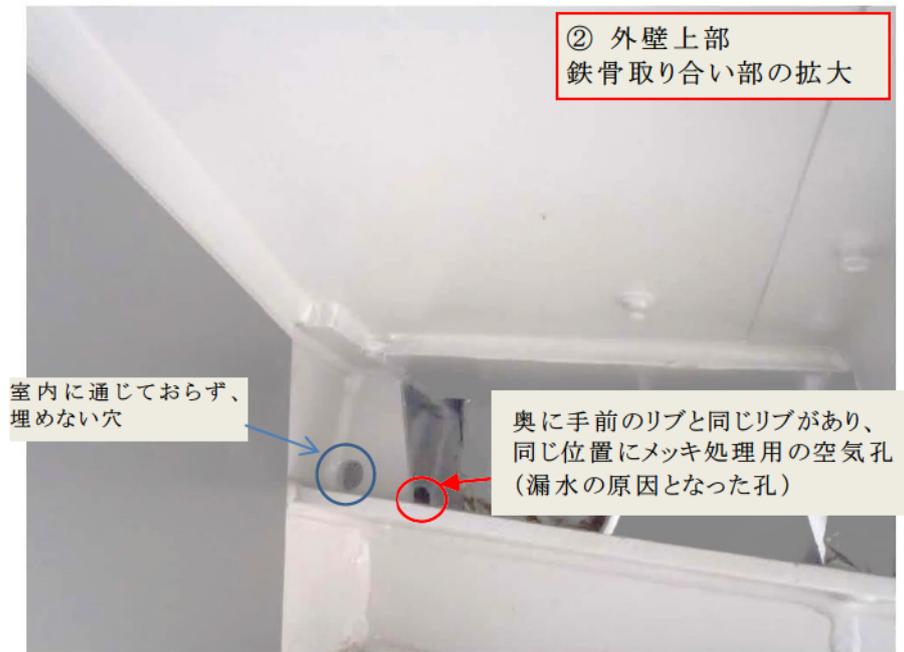
目視での調査・確認と、屋根と外壁面にハイウォッシャー（高圧洗浄機）で散水試験を実施しました。



(3) 調査結果と対策

①外壁上部 鉄骨取り合い部

雨水は、台風 21 号の強風により、鉄骨の表面メッキ処理用の空気孔 (直径 20mm) から浸入した。



- 原因

鉄骨のメッキ用の空気孔は、仕上げ工事時に孔埋めが未施工であった。散水試験を実施したが、原因となった孔部分の散水試験が十分ではなかった。

- 類似個所の調査

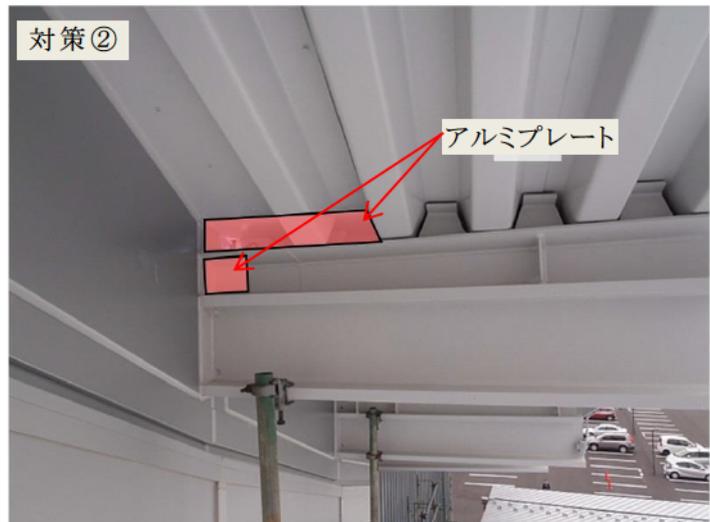
高所作業車で軒下鉄骨梁周辺の全数確認を行い、漏水の恐れがある箇所の修補を実施する。

- 対策及び品質管理方法

対策① 孔を、ボルトとゴムパッキン材でふさいだ上、シーリングでボルトを覆う。

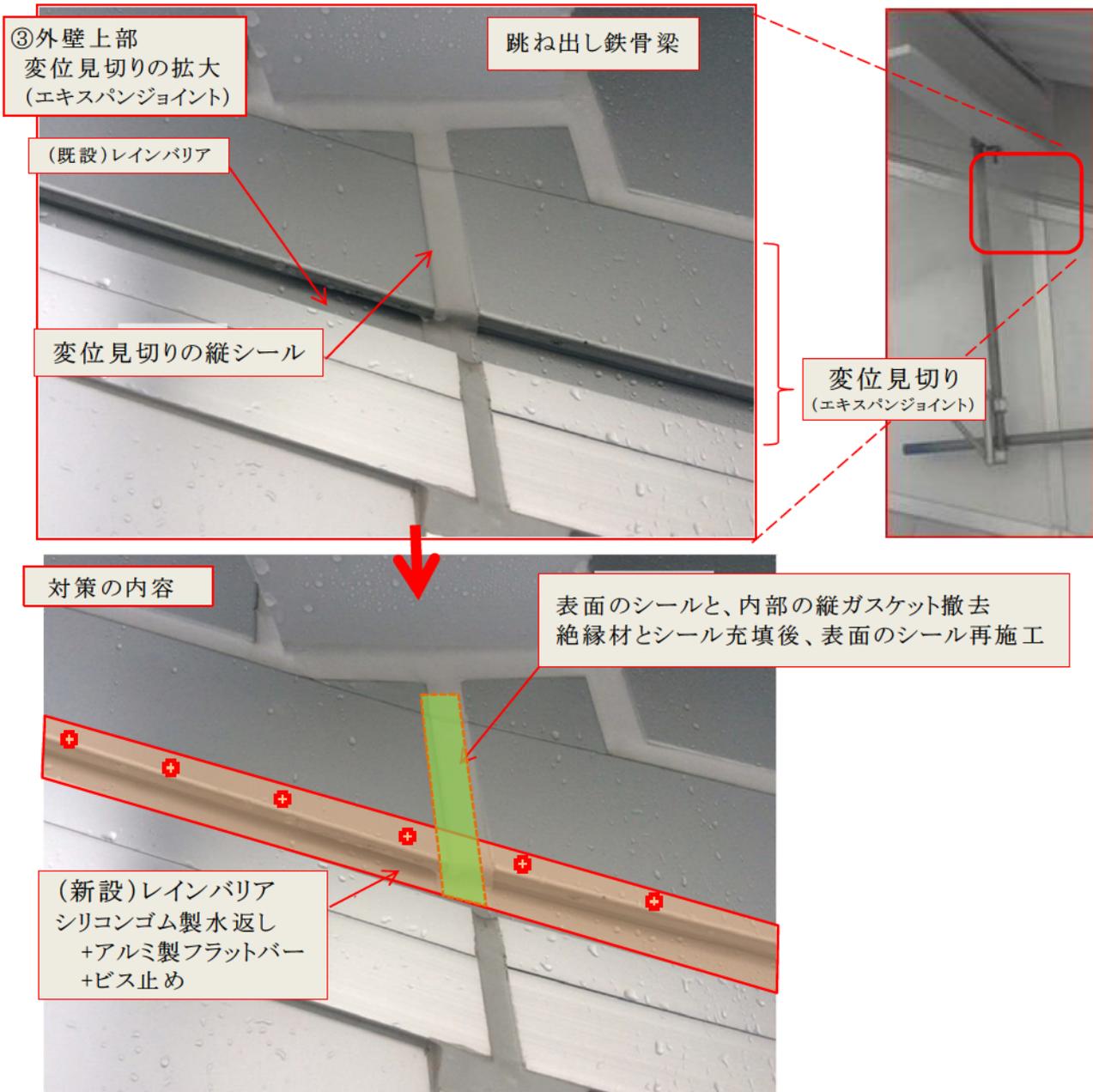
対策② 対策①が実施できない場合は、雨水が入らないようアルミプレートを設置する。

○ 対策完了後は、散水試験により確認。



② 変位見切り（エキスパンジョイント）部分

散水試験では台風による漏水の症状とは違うため、今回の漏水とは関係ないと推定されるが、改めて防水対策工事を実施する。



● 原因

変位見切の長手方向の接続部縦シールを撤去し内部の状況を調査したところ、止水のために取り付けられた縦ガスケット(止水材)に隙間があった。散水試験時にレインバリア(シリコンゴム製の水返し)から侵入した水が隙間に到達し漏水の原因となった。

● 類似個所の調査

同様の納まりは、カーテンウォール、アルミサッシ上部にあり、全ての縦ガスケット撤去し修補。

● 対策及び品質管理方法

- 縦ガスケット撤去し、絶縁材とシール充填後に、表面のシールを再施工する。
- 強い風圧を受ける場所は、レインバリアの手前にもう一つレインバリアを設置する。
- 対策完了後は、散水試験により確認。

(4) 対策工事完了

11月30日(予定)